



園だより



第5期（10月11日～11月19日）

社会福祉法人 種の会 だいな幼稚園

〒651-0064

神戸市中央区大日通 1 丁目 1-1

<tel:078-252-3810> fax:078-252-3820

mail:daina@tanenokai.jp



どんな秋を楽しみますか？

園長 溝上 宏子

朝晩は少し肌寒くなってきた今日この頃、気温の変化から秋の訪れを感じますね。さて、先日は第2回だいな幼稚園運動会が無事終了しました。宮本小学校の体育館にて開催予定でしたが、コロナ禍にあり、緊急事態宣言が9月いっぱいまで延長されたこともあって、日程をずらして2部制とし、園2階保育室での開催に急遽変更させて頂いた次第です。運動会の開催を中止する保育施設、学校もある中、保護者の皆さまや地域の方々のご理解ご協力を経て開催することができ、子ども達の頑張る姿、表情を演技や競技から見て頂くことができた事、大変うれしく思っております。子ども達への温かいまなざしとたくさんの拍手、応援を頂きましてありがとうございました。また、快く体育館を貸して下さる判断を早い時期からして下さっていた宮本小学校の校長先生にも感謝の気持ちでいっぱいです。来年度はコロナ禍も収まり、広い体育館で全園児、保護者の皆さん、地域や関連施設のお客様と一緒に第3回だいな幼稚園運動会が行なえるように願うばかりです。

さて、秋と言えば“芸術の秋”“食欲の秋”“スポーツの秋”“読書の秋”“音楽の秋”“行楽の秋”“睡眠の秋”“収穫の秋”“実りの秋”“紅葉の秋”などなどいろいろありますが、皆さんはどの秋を楽しみますか？気候も良く、過ごしやすい季節なのでいろんな事が楽しめそうですね。私はまず“収穫の秋”を楽しむ予定です。実家の里に柿の木があり、色づいているという知らせをもらったのでカラスや猿に先を越される前に柿の収穫を楽しみたいと思っています（笑）。収穫と言えば、親子遠足での芋ほりも楽しみです。秋空の下、秋風を感じながら親子して土を掘り、さつまいもをゲットしつつ、小虫や植物などにも目を向けて楽しむ機会になればと思います。

芋ほり遠足にちなんで子ども達にも大人気の絵本を紹介しますね。「おおきなおおきなおいも」は遠足当日に雨が降り、遠足に行けなくなったことでみんなでお芋の絵を描くこととなります。大きなお芋の絵を描き、「まだまだ、まだまだ」と言いながらページをめくる楽しさとお芋がどんどん変化するたびに「わ～」と歓声が沸き起こる1冊です。園でもたくさん絵本を読んできたいと思いますが、どうぞご家庭でもお子さんと一緒に寝る前に絵本を読むなどして、ゆったりと秋の夜長をお過ごしくださいね。

また、5歳児はお泊り保育がありますね。いつも側にいる我が子が一晩いないという事実。子どもより親の方がドキドキするかもしれませんね。子ども達はやりきるクッキングでカレー作りをしたり、その他いろんなことを楽しむ予定です。さて、翌日の出会いは親も子どもどんな気持ちになるのでしょうか。愛おしさが増すことは間違いなし！です。だいな幼稚園は秋も楽しい事が満載です。



運動会を終えて

山下 章乃

10月2日(土)の運動会で、子ども達は、保護者の方に見てもらえる嬉しさと緊張を感じながら、それぞれに自己発揮したり、表現したりしていて、みんな本当にキラキラと輝いていました。

8月から運動会のおけいこがスタートし、本番以外の協技や競技にもたくさんチャレンジしてきました。2か月間の活動の中で、子ども達はクラス・グループの帰属意識や友達・保育者との関係性を大きく深めたように感じます。

にじ組の演技では、子ども達は、キラキラのポンポンを手につけたり、パラバルーンにさわれる喜びが大きくて、みんな最初からやる気満々でした。しかし、振付を覚えて、みんな一緒に動きを合わせるということは難しく、課題でした。保育者達は、知恵を出し合い、様々なおけいこ法を考えました。少人数グループで短時間で繰り返しおけいこする、BGMに振付の歌詞をつけて歌う、1つずつの振付の動きやポイントを確認する、自分の演技をiPadで見る、子ども同士でかっこよかったところを伝えあうなどです。子ども達は、少しずつ振付を覚え、周りの友達も見ながら動けるようになり、友達と動きがピッタリ合った時の気持ちよさや、パラバルーンを引っ張る力加減を体得していきました。子ども達のおけいこは、次第に「参加する」から「みんなでやる！今は頑張る！」に変化していったのでした。

そら・つばさ組は、かけっこ、競技、リレーのおけいこを重ねる中で、「競う」ことに愉悦感をもって取り組めるようになりました。「勝つ」ためには「力を合わせる」ことも大切だと知りました。子ども達の動きに、スピード感やキレが増して、白熱した勝負が毎日繰り広げられました。演技では、保育者がデモ動画を撮影している時から、「早くやりたい！！」と意欲で胸を膨らませていたそら・つばさ組。おけいこ後は、毎日「誰のどういうところがかっこよかったか」「どうすれば、もっと上手になるか」と、意見を出し合いました。そして「今は集中するとき」「気持ちを切り替えよう」と子ども達から声が出るようになりました。バレリーナの動画をiPadで見て、つま先立ちで歩く練習をしたり、裏打ちのリズム打ちが揃わない時は、みんなで声を出しながら裏打ちをしました。

そら・つばさ組の子ども達は、出場者としてだけでなく、オープニングの体操、入場行進のグループリーダー、司会進行など、特別な役割も担いました。本番当日、子ども達は自信を持って堂々と取り組む姿があり、お家の人に見てもらえるということが、さらに子ども達の力を大きくしていると感じました。運動会では、子ども達にたくさんの拍手を送ってください、ありがとうございました。保護者の方も、保護者競技や親子競技で、子ども達に負けないくらい本気で参加してくださっているのがとても嬉しく、子ども達も真剣に応援していました。

秋は、5歳児のお泊り保育、親子遠足、焼き芋大会と楽しい行事が目白押しです。子ども、保護者の方、保育者みんなで、豊かな経験を共有していきたいです。



5期 10月11日(月)～11月19日(金)の活動

行事	10月28日(木) 誕生会 10月29日(金) ハロウィン お泊り保育(つばさ組) 11月12日(金) 親子遠足 11月16日(火) 焼き芋大会 11月18日(木) 誕生会
マイニチリズム	♪線路は続くよどこまでも
運動遊び	・サーキット・リトミック・ふれあい遊び
絵画・造形	・動物園プロジェクト・ハロウィン制作・絵の具 ・折り紙
クッキング	にし:かぼちゃのポタージュ(ジャック・オー・ランタン) そら・つばさ:魚料理
園外保育	・王子南公園・王子動物園・岩屋公園・宮本公園 ・ジョギングコース・青谷川公園



行事

10月29日（金）ハロウィン

帽子やマント・仮面などを秋の自然物や絵の具、のりやはさみなどの道具を使って自分たちで製作し、変身します。だいな幼稚園だけでなく、なのは・はらだ乳児園などへ行き、「Trick or Treat!」を唱え、お菓子をもらいます。

10月29日（金）～30日（土）お泊まり保育（つばさ組）

今現在お泊りをする方向で計画しています。やりきるクッキング(カレープロジェクト)、ハロウィンでご近所めぐりを楽しみます。詳細は追ってお知らせします。

11月12日（金）親子遠足

みんなでバスに乗り、北区にある「岡田農園」で芋掘りをします。お弁当、おやつを持ち、ピクニックをします。芋掘りをした後は、泥遊びや虫探しなど自然とたくさん触れあいます。芋掘りで掘ったさつまいもは一部お家に持って帰って食べていただき、残りはだいな幼稚園の焼き芋大会に使用します。

雨天時は「堺市立ビッグバン」に変更します。室内型アスレチックでたくさん身体を動かして遊びます。

11月16日（火）焼き芋大会

当日までに公園で落ち葉を拾います。王子南公園で落ち葉や炭に火をつけ、焼き芋を作ります。作った焼き芋は昼食後にいただきます。なのは・はらだ乳児園、地域の方と一緒に焼き芋大会を楽しみます。

マイニチリズム

「線路は続くよどこまでも」の曲で、「♪♪♪♪♪♪♪♪」のリズム打ちをします。

歌

「きのこ」「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」「やきいもグーチャーパー」

「山の音楽家」「もみじ」「キャンプだホイ」など、秋の歌を歌います。焼き芋大会や親子遠足などの行事や、近隣の公園探索などの活動を通して秋の景色を想像しながら歌っていきます。



誕生会

特別な雰囲気の中、みんなで誕生児をお祝いします。誕生児はみんなに注目されたり、インタビューに応える経験をします。

そら組
つばさ組
プロジェクト
チーム

…司会や出し物を自分達で企画・準備し、保育者と一緒に誕生会を作り上げます。

サーキット

毎週水曜日のサーキットで、下記をポイントにして取り組みます。

にし組

…鉄棒の前回りに挑戦します。そのための導入としてつばめのポーズをします。

そら組
つばさ組

…鉄棒の逆上がりに挑戦します。坂付き板を使って蹴りあがります。

動物園プロジェクト

毎週火曜日のズーズデイが再開します。毎週の動物園を通して、子ども達と対話をします。動物園に行く前は、「どの動物を見に行きたいか」「その動物のどんなことが知りたいか」を話し合い、目的を持って動物園に行きます。動物園から帰ってきたら、「気づいたこと」を話し合ったり、動物図鑑で調べたりします。

絵画・造形

絵の具で好きな色で塗ったり、絵を描いたりして色の混ざり方や色の変化を学びます。ハロウィンに向けてのりやはさみなどの道具や様々な素材を使って変身グッズを作ります。

また、園外保育で拾ってきた落ち葉やどんぐり、まつぼっくりなどの木の実を使って、秋にちなんだ制作もしていきます。

クッキング

にじ組

…カボチャのポタージュとハロウィンにむけてジャック・オー・ランタンを作ります。カボチャのポタージュは、加熱したかぼちゃをつぶしてペースト状にし、調理の先生が仕上げをしてくれ、その場でいただきます。ジャック・オー・ランタンは、加熱前のカボチャの種をくりぬきます。加熱前と加熱後のカボチャの固さの違いを感じます。

そら組 つばさ組

…秋に旬の魚をまるごと味わいます。普段、食事で食べている魚の切り身が、元々はどんな形なのか、どうやって切っているのかを実際に目の前でさばいているところを見ます。その後、自分たちで焼いていただきます。

園外保育

近隣の公園や王子動物園にたくさん出かけます。秋の自然物（松ぼっくりやどんぐり、落ち葉）や秋の虫（コオロギやスズムシなど）に触れ、季節を感じます。お弁当日には、ピクニックをします。



だいな幼稚園 第5期 活動&行事カレンダー
10月11日(月)～11月19日(金)

		活動		その他
		にじ組	そら・つばさ組	
10/11	月	園外保育(宮本公園)	園外保育(宮本公園)	
10/12	火	王子動物園	王子動物園	
10/13	水	体育遊び・絵の具	体育遊び・雑草抜き	
10/14	木	ふれあい遊び・王子南公園	クッキング	
10/15	金	コーナー・ゾーン活動	コーナー・ゾーン活動	
10/16	土			
10/17	日			
10/18	月	植栽・王子南公園	絵の具・王子南公園	
10/19	火	岩屋公園	岩屋公園	お弁当日
10/20	水	体育遊び・絵の具	体育遊び・花植え	
10/21	木	クッキング	ハロウィン制作	
10/22	金	リトミック・コーナー・ゾーン活動	コーナー・ゾーン活動	避難訓練
10/23	土			
10/24	日			
10/25	月	福住公園	ハロウィン制作・王子南公園	
10/26	火	王子動物園	王子動物園	
10/27	水	体育遊び・ハロウィン制作	体育遊び・折り紙	
10/28	木	誕生会	誕生会	
10/29	金	ハロウィン	ハロウィン・お泊り保育(つばさ組)	
10/30	土			
10/31	日			
11/1	月	宮本公園	絵の具・王子南公園	
11/2	火	王子動物園	王子動物園	
11/3	水		文化の日	
11/4	木	絵の具・王子南公園	青谷川公園	
11/5	金	コーナー・ゾーン活動	コーナー・ゾーン活動	
11/6	土			
11/7	日			
11/8	月	ふれあい遊び・王子南公園	園外保育(ジョギングコース)	
11/9	火	王子動物園	王子動物園	
11/10	水	体育あそび	体育遊び	
11/11	木	絵の具・王子南公園	制作	避難訓練
11/12	金	親子遠足	親子遠足	
11/13	土			
11/14	日			
11/15	月	王子南公園	リトミック・王子南公園	
11/16	火	焼き芋大会	焼き芋大会	
11/17	水	体育遊び・折り紙	体育遊び	
11/18	木	誕生会	誕生会	
11/19	金	コーナー・ゾーン活動	コーナー・ゾーン活動	



お知らせ



◎引き落とし手数料について

毎月の口座引き落とし手数料が、金融機関の価格変更の為、10月引き落とし分より
121円→123円に変更になります。

◎11月12日(金)の親子遠足について

晴天時は、神戸市北区の岡田農園で芋ほり、雨天時は、大阪府の堺市立ビッグバンに行きます。保護者の方のご参加は、バスの定員の都合により、各家庭1名様でお願いいたします。集合は9時、解散は15時前後を予定しております。

また、バス代として、晴天の場合は**親子一組あたり2,400円**、雨天の場合は**3,100円**のご負担をお願いいたします。(12月に口座引き落としさせていただきます。)

園内や遠足先の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、園児だけの遠足に変更、または中止にさせていただく可能性もありますので、ご了承ください。

◎アタマジラミの発生について

園内でアタマジラミが発生しています。各ご家庭でお子さまの頭をチェックし、寄生がないかご確認をお願いします。アタマジラミは登園停止にはなりません。集団生活で寄生が見つかったら、家庭も含め広範囲に蔓延する可能性があります。寄生が見つかった場合は、医療機関や薬局でシラミ駆除薬品を購入し、対処して頂きますようお願いいたします。園にも速やかにお知らせください。また、予防のため、子どものシャンプーは大人の方がしっかりと洗髪してください。

◎登降園時のお願い

- ・最近、門が開いたままになっていることが何度かありました。安全の為、門の開閉は必ず保護者の方が行ってください。門上のロックも必ずお閉めください。
- ・登降園で保護者の方が、保育室を出られる際は、近くの職員に一声かけてから、保育室を出ていただきますようお願いいたします。お子様の様子や体調などに気になることがありましたら、近くの職員までお知らせください。
- ・登降園時にご記入いただいております健康調査票に、「**園→保護者への連絡欄**」を追加しました。連絡欄に〇が入っている方は、園からお伝えしたいことがあります。職員までお声がけいただけますと幸いです。
- ・園生活では、子どもが身の回りのことに自分で取り組むことを基本にして過ごしています。登降園時の身支度についても、子どもが自分で取り組めるよう、保護者の方のお声がけと見守りをお願いします。



動物園プロジェクト

松村 崇司

季節はすっかり夏から秋になり、朝夕だと少し肌寒い日があるくらいになりました。そんな季節の移り変わりを“一年早いなあ…”感じながら子どもたちと過ごしています。

さて、お休みしていた動物園プロジェクトがまた再開です。今期より各グループ王子動物園へ新たな“ネタ”探しの旅に出発です。思い返せば上半期、各グループいろいろな取り組みがありました。パンダの毛からいろいろな動物の毛に興味・関心が広がったグループや亡くなったチンパンジーからチンパンジーの生態に興味・関心が広がったグループ、自分たちのオリジナル動物園マップ制作からうさぎの家に興味・関心が広がったグループなどさまざまな姿がありました。それぞれグループの特徴や嗜好があり、関わっていて“おもしろいなあ”といった印象があります。同時にプロジェクト活動として進めていく難しさを感じていたのも事実です。3・4・5歳児の異年齢ということで、“どの意見（3歳の興味・関心？それとも関心度が高く、熱を帯びている4・5歳の意見？など）を膨らます？”といったところからなかなか答えが出せないこともありました。3歳であれば「かわいかった！」「大きかった！」など動物の抽象的な部分を取り上げて発表する姿が各グループたくさんあります。4歳になると少し具体的になり「〇〇のこんなところがかっこよかった！」や「目がこんな形を（手を使って）しているね！歯もとんがってる！」など捉える視点が少し変化しているのがわかります。5歳にもなると保育者からの問い、例えば先ほどの話で言うと「歯がとんがっているのはどうしてだろう？」と問いかけます。すると、「何か硬いものを食べるからじゃない？」「人間の歯もとんがってるのがあったり、ギザギザがついているのもあるから」など思わず「ほお～なるほど」と保育者が納得してしまうことがありました。これら子どもたちと保育者のやりとりを見てもさまざまな姿があります。子どもたちの力だけでなく各グループ担当保育者の力が非常に大きいということも事実です。保育者がある程度道標を示して子どもたちとどのように進めるのか、反対に本当に子どもたちだけの意見のみで進めていくのか、保育者の中にもさまざまな葛藤があります。今期はどんな姿があるのか、私自身まったく想像が付きませんが、そんな葛藤さえ楽しみたいと思っています。

とある日の王子動物園のこと（動物園 Twitter より）。ニワトリ同士3羽が集まって何やら集会を開いています。集まってはいるのですがお互いの顔を寄せ合ってはじっと何かを待っているようです。仲のいいニワトリ同士は時々お互いの羽繕いをするところがあるそうです。この集まった3羽はもしかしたら誰かに羽繕いをしてもらうのを待っているのかもしれない。その様子を撮影していた飼育員さんはその時に「邪魔するな！」と言わんばかりにその中の一羽に睨まれてしまったそうです。こんなニワトリの知られざる行動ご存知でしたか？私はまったく知りませんでした。新たな“ネタ”探しと同時に“王子動物園でこんなニワトリさんのお話があったよ”と子どもたちに問いかけてみたいと思います。

そら・つばさ組



運動会の練習が始まったころ、大きいパラバルーンに驚いたり「やりたい！」という気持ちがとても大きかった子どもたち。パラバルーンを実際にやってみると去年とは大きさが全く違って思い通りにいかないこともあったと思いますが、自分たちの姿を見て振り返り、練習を重ねていきました。リレーや競技では勝って“嬉しい”負けて“悔しい”という経験ができました。そこから競争心が芽生え、どちらのチームも「どうしたら勝てるか…」をみんなで考え、本番に臨みました。本番の運動会とそれまでの過程を通じて最後まで諦めずに取り組むこと、友だちと協力したり応援したりすることができました。運動会は終わりましたがにじ組のポンポンをしたり競技をしたりして、運動会ごっこを楽しみたいと思います。

5期では自分たちで魚を買いに行き、クッキングをします。切る前の魚と切った後の魚を見比べたり栄養士に魚をさばいてもらい写真やパネルを見て魚のどの部分なのかを学びます。そして知ったことを自分の言葉でにじ組の友だちやお家の人に伝えられたらと思います。

そら・つばさ組・コアラグループ担任 伊藤 結



にじ組



運動会の競技では、はじめは一人で遊ぶことが楽しくて、自分のペースで進んでいく姿が多かったのですが、練習を何度も繰り返す中で、ペアの子より走るのが速すぎたと気付いたり、ペアの友達の走るスピードに合わせたり、相手の気持ちを考えて動いたりできるようになっていき、子ども達の成長に驚かされることばかりでした。また、ミニパラバルーンでは中に入ったり、みんなとバタバタと揺らしたり友達と一緒に動きを合わせて演技する経験をしました。その中で、みんなと一緒に思いっきり遊ぶ時と集中して練習に取り組む時の切り替えを子ども達なりに考えて取り組む姿がありました。

にじ組は練習を通して、そら・つばさ組の練習風景を見る機会がたくさんありました。見ている時のにじ組の子ども達の顔を見ていると、手を組んで前のめりになりながら真剣に見ている子や、そら・つばさ組の振りを覚えて一緒に踊っている子がいました。これから運動会あそびとして、憧れのそら・つばさ組の体操・演技も経験できる時間をつくります。子ども達からどんな姿が見られるのかとても楽しみです。

5期では、ハロウィンがあつたり焼き芋大会があつたりたくさんのイベントがあります。地域の方々や姉妹園の子どもたちと関わりながら季節ならではの活動をたくさん経験し、自分の思いだけでなく相手の思いもあることを知って、相手の言葉にも耳を傾けることができるように促していきます。

にじ組・ウサギグループ担任 鈴木 さやか



だいな窓から



子どもたちがマドンナの前を通る時、そら組の男の子を筆頭に『あげちゃんに見つからないようにね!』と言いながら廊下でほふく前進をしたり、そーっとかがんで進むことがあります。

『あげちゃんに見つからないようにね!』という声が大きすぎて、くすっと笑いながら全員が通るのを見守っているのですが(笑)わざと目を逸らしたり、あえて逆にじっと見えています。見つからないようにしているはずなのに、目が合うと『きゃー!』と言って笑います。

子どもたちは、スリルを感じたり楽しいことを見つけるのがとても上手ですね。

事務 揚村 麻菜美



みなさん、だいな幼稚園のホームページは見ていただいていますか?園だよりのお知らせや活動ブログを投稿しています。活動ブログでは、「だいなようす」(2週間に1回更新・玄関先にも掲示)を公開しています。子どもたちのつぶやき・会話が聞こえてくるような写真がたっぷり!お手元でじっくりと見てみてください。

さらに、だいなプチファームの活動記録も公開しています。実は、これを投稿しているのは“調理員”なんです。“全員保育”のだいな幼稚園ならではの取り組みです。こちらもぜひチェックしてくださいね。

保育士 兼 法人広報 中村 聖子

↓QRコードからホームページにアクセスできます。



食事だより

秋にさしかかり、だんだんと涼しくなってきました。食欲の秋には、美味しい旬の食材がたくさんあります。美味しいものをしっかり食べて栄養をたっぷりたくわえましょう。

●旬の食材

さけ

さけには、免疫力を向上させるためのビタミン類が豊富に含まれています。また、DHAやEPAも多く含まれており、脳細胞を活性化し、記憶力を向上させてくれます。これらは、油と一緒に食べると吸収しやすくなります。バターやオリーブオイルなどを使って調理する方法がおすすめです。



えのき

えのきにはビタミンB1が含まれており、代謝UPや、疲労感の軽減に効果があります。さらに、便秘解消に繋がります。ビタミンは水に溶けやすいため、煮汁ごと食べられる汁物やスープとして調理する方法がおすすめです。



じゃがいも

じゃがいもはみかんと同じ量のビタミンCが含まれています。ビタミンCは免疫力を高めるため、これからの時期にぴったりです。ビタミンは水や熱に弱いですが、じゃがいもの場合でんぷんがビタミンを守ってくれるため、加熱してもビタミンが失われにくいのが特徴です。



柿

柿はカリウムが豊富で、塩分を排泄する役割があり、高血圧予防に効果があります。柿は、実にたくさんのビタミンAやビタミンCが含まれていますが、実だけでなく、葉も利用されます。ビタミンCではなんと、みかんの30倍も含まれています。柿の葉寿司や葉茶として使用されています。



●イイ歯の日

11月8日は「イイ歯の日」です。その日は、だいな幼稚園の昼食に噛むメニューをたくさん入れています。その中から特に人気メニューの、「かみかみ大豆」のレシピを紹介します。

<材料 大人2人分>

乾燥大豆	150g
片栗粉	大さじ 1.5
しらす (ちりめんじゃこでもO)	20g(好みの量)
揚げ油	適量
醤油	大さじ 2
砂糖	大さじ 2

<作り方>

- ①乾燥大豆をみずに浸して戻す。
- ②①の大豆の水気をペーパータオルでふき取り、片栗粉を全体にまぶす。
- ③揚げ油を 170℃～180℃にする。
- ④しらすを素揚げにし、②の大豆は外側がカリカリになるまで揚げる。
- ⑤フライパンに調味液を入れて、弱火で少しとりみが出るまで熱する。
- ⑥あげた大豆としらすを⑤に絡めて完成。

子どもの時から、よく噛む習慣を身に付けると、①顎の発達②唾液の分泌③食べすぎを防ぐ④脳を発達させる⑤気持ちを落ち着かせ、集中力を高める⑥豊かな表情が生まれるなど、様々な良いことがあります。

だいな幼稚園では、和え物やサラダの野菜は固めにしています。噛む事でたくさんいいことがあるので、ご家庭でも食材は少し固めを心掛けてみてください。

●調理からのメッセージ

ある朝、だいな幼稚園の台所のドアを「コンコン」とノックする音が聞こえました。「は～い！」とドアを開けると、とてもかわいいプリンセスたちが「ごきげんよう～」とご挨拶をしてくれました。「今日も美味しいごはん作ってね～」とおしとやかに応援をしてくれました。とても元気がでて、頑張ろうという気持ちになりました。

プリンセスたちは、2階や廊下ですれちがう時でも「ごきげんよう～」と挨拶をしてくれます。ご飯を食べる時には、こぼさずにマナー良く食べることを心掛けているようです。そういった影響で、子どもたちが「こぼしてるよ～」と綺麗に食べることを意識している様子が見えて素敵だなと思いました。食事を通して、マナーなどを知ってもらえるような関わりをしていきたいと思えます。

栄養士 二宮 鈴菜

4月のころに比べると、子どもたちは食べる量や速さが変わってきています。にじ組の子どもたちは食べられる量を自分たちで調節できるようになりました。苦手な食材や量が多いなど感じると保育者に「これ、減らしてください」と自分から言いに来て、減らしてもらった後には「ありがとう！」とお礼を言ってくれます。

そら・つばさ組には食べるのが速い女の子がいて、「食べ終わった！」と食器を片付けていました。「とても速いね」というと「だってだいなのごはん美味すぎるんだもん！」と、とても嬉しい言葉をくれました。

子どもたちと食を通して関わる中で「美味しい」と言ってもらえることが何より私のエネルギーとなっています。これからも美味しい食事やおやつ作りを頑張ります。

栄養士 山本 菜那

私には1歳の子供がいるのですが、子どもが体調を壊して休ませていただくことがしばしばあります。少しの間だいな幼稚園の子どもたちと会えなかった期間があり、休み明け久しぶりに出勤した朝、子ども達から「先生！おはよう！」と走って抱きついてきてくれました。とても嬉しい瞬間でした。毎日出勤する日が楽しみです。10月も、子ども達とたくさんお話していきたいと思えます。

調理師 荒巻 美帆

#ユナタン4

2021年10月 片山喜章

グループの仲間だからこそ

法人内のある園の5歳児クラスでは、当番活動として生き物のお世話を行なっています。前年度の5歳児から引き継いだ小動物や、4歳児から一緒に“進級”した虫たちなど、カニ、カタツムリ、メダカなど、たくさんの生き物が“クラスメイト”です。みんなで話し合い、5つの生活グループが日替わりでお世話をすることになりました。そこで1つのグループで起きたある日のナラティブ(物語)です。

当番活動がはじまってしばらくすると、ダイヤグループのトムくんの様子がおかしいのです。生き物にほとんど関わらず、当番の日は早くお迎えに来てもらっていることもありましたが(活動は16時以降)。以前から気になっていた花子先生は、トムにゆっくりと尋ねてみると、「虫が苦手やねん」「時間が長く遊び時間が少なくなる(当番をしながら長時間生き物と遊ぶことがある)」とのこと。花子先生はトムには何も答えず、「そんなトムの気持ち、グループの仲間(全員で6名)は知っているの?」と尋ねました。「誰にも自分の気持ちを言ってない」と答えたので「どうする?」と突っ込んだところ、トムの方から「一回、みんなに言うってみる。けど、先生も一緒にいてほしい」。トムが、自分の気持ちをみんなに伝えたいと答えたので、グループで話し合いの時間をもちました。

花子先生「トムがみんなに聴いて欲しいことがあるんだって」

全員「いいよ～なに～?」

トム「あの～虫のお当番、シンドイ、やめていい?」

少しの沈黙の後、エバが口を開きました。

エバ「何がシンドイの?」

トム「虫を触るの、怖いねん」

エバ「カタツムリ? メダカ? カニ?」

トム「ぜんぶ」

エバ「ぜんぶ? カニはハサミがこわいん?」

トム「挟まれたら嫌やから」

マイケル「カタツムリはべたべたしてるもん」

トム「そう、手に乗せたら、べちよべちよになるもん」

ララ「わたしも苦手。可愛いけど、手に乗せたらべちよべちよになるもん」

エバ「ララは苦手やから、蓋に乗せてるよな～」

キキ「わたしもカニ怖いけど、エバに持ち方教えてもらって触れるようになったで～」

トムは、ただ聞いているだけで何もいえないままでした。そんな空気を読んだエバは少し間をおいて「他に何か嫌なことある?」と話を変えました。

トム「お当番の時間が長いから遊ばれへんのが嫌や」

エバ「でもさ、たくさん虫いるから時間かかるねんな～」

マイケル「お世話もやけど、カタツムリと遊んであげないとかわいそうやしな〜」

エバ「トムまだ嫌なことある？」

トム「もうない」

エバ「虫のお当番だけ嫌なん？ 他のお当番は？ ホウキとか、靴箱とか、雑巾とか、給食とか、朝の会とかあるけど…」

トム「虫のお当番だけや。他のは楽しい。だから虫のお当番、やめてもいい?!」

全員「……。」

トムがお当番を辞めたい理由は、虫が嫌いでも時間も長いことだと、グループの仲間は理解したようです。花子先生は改めてトムの気持ちを確認しました。グループの仲間は一瞬、黙ったまま、あれこれ考えを巡らせていました。すると…

マイケル「あのさあ、トムにやめてほしくない。なんでか言うと、虫さんたくさんいるから大変やもん。キキちゃんも早くお迎え来るし、ポビーもスイミングで早く帰る日あるし、トムもお迎えが早い時があるから、3人とかでお世話するん大変やから、やめてほしくない」

エバ「エバもやめてほしくない。エバもめんどくさい時もあるし、遊びたい時もあるけどお世話しないと死んでしまうやん。もう死んでほしくないし、このグループみんなでしたい」

キキ「キキも虫のお世話、大変やけどやめてほしくない」

ララ「ララもトム、やめるんは嫌や」

ポビー「ぼくはお世話するの大好きやけど」

エバ「そしたらトムがお当番、やめてもいいん？」

ポビー「……」。

そこで花子先生は、トムに尋ねてみました。

花子先生「みんな、トムにお当番、やめてほしくないみたいだけど、トムはどう？」

トム「…でも、やめたい」

エバ「でもさ、エバもめんどくさい時あるけど、お世話しなかったら死んじゃうで。みんなでお世話しようと決めたやろ？」

トム「虫触るの苦手やし時間も長いし…」

エバ「じゃ〜さ、トムは何やったらできるん？」

子どもたちの話し合いの方向が少し変わってきました。

キキ「トム、水槽とか水草とか石を洗うのやったらできる？」

ララ「トム、前、それしてたやん」

エバ「虫を触るの嫌やったら、エサいれたり、お家、きれいにしたりとかやったらできる？」

トム「それやったらできる」

エバ「えっ！ できるん！ じゃ〜カニ、エバが持ってあげるから言うてな」

キキ「トム、ほんまにできそう？」

トム「うん、できる！」

その後も、話はぐんぐん深まり、みんなはトムを励ますように、「こんな時はぼくが…」「そんな時は私が…」とトムへのヘルプやフォローの話で盛り上がりました。まだまだ話は続きます。今度は、お世話のついでにその場でただらと遊んでいること、お世話から“解放”されるのはいつか、ということについて審議していました。

マイケル「カタツムリさん、可愛いもん、ずっと遊んでいたい」

花子先生「他のみんなはどう思う？」

トム「早く終わって他の遊びしたい」

全員「……」

エバ「だってそこに時計ないからわからへん」

実際、お当番活動は、お世話をしながら、生き物と遊んでしまうことが多く。毎回 45 分間くらいかかっていたようです。トムはそれも嫌だったようです。そこで「どうしたらいい？」という花子先生の問いに、まず「自分たちで決めるから」と言って、話し合った末に、“16 時から 16 時 30 分までとする”と決めました。見える場所に時計はありますが、エバは「先生、長い針が6のところになって忘れてたら、教えてな」と念押しもしていました。話を始めて終わるまで 40 分以上、経過していました。

5 歳児にもなると、これくらい筋道を立てて自分の思いを表現し、相手の気持ちを理解し、対話することができるのです。そのためには保育者や保護者である大人が、普段から、それこそ、1、2 歳の頃から、「何がしたいの？」「どちらが良いの？」「どう思うの？」「どんな気持ちでいるの？」と常に問いかける保育を基本にしていなくてこのような子ども文化は育まれないでしょう。まだまだ日本各地では子どもに問いかけても結局、大人の都合の答えに誘導したり、逆に不本意だけど子どもにおもねたりするケースが多いと思われます。トムの思いや願い＝“わがまま”は、保育者が判断することではなく、グループの問題ですから、当事者で長い時間をかけて“子どもらしい”対話とすることで解消しました。

子どもに寄り添うとは、子どもの言いなりになることではなくて、一人ひとりの思いや願いを丁寧に傾聴することから始まります。あとはお当番という子どもたち自身の生活の世界のことですから、解決のための対話を促す、これが保育者(大人)を大きな役割です。子ども(たち)を1人の人間として認めるマインド(度量)を保育者は体得し、保育者自身が「豊か(成長)になること」と「子どもたちの問題解決力」は並走するものだと思います。子どもに寄り添うことは、時には心地よく、時には疎ましく、時には忍耐が必要であり、最後には、私自身が変わることであり、と気づかされることがよくあります。

